

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.5.28 第 169 回国会第 20 号

5 月 28 日、第 20 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。
辞任 理事 西 銘 恒三郎君（自民）
補欠選任 理事 葉 梨 康 弘君（自民）（理事西銘恒三郎君今 28 日理事辞任につきその補欠）

2 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・冬柴国土交通大臣、平井国土交通副大臣、政府参考人及び清土衆議院調査局長に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

河 本 三 郎君（自民）

- ・全国総合開発計画から、まもなく閣議決定される予定の国土形成計画に至るまでの計画について均衡のとれた国土の発展という視点からの大臣の評価はいかがか。
- ・法務省や内閣府においては、北朝鮮人権侵害問題啓発週間が国民に広く周知されるようカレンダー業界等に協力を求めるなど取り組むとともに、国土交通省においても、同週間の啓発活動に積極的に取り組む必要があると考えるいかがか。
- ・離島航路補助制度においては、一航路一路線であることが補助対象航路の要件となるが、この要件を緩和する必要があるのではないか。

松 原 仁君（民主）

- ・今年 4 月 21 日の決算行政監視委員会での質問以降、羽田空港 D 滑走路建設工事において、何か新たな対策を講じているか。また、埋め立てに使用される岩ズリには、土を何%まで入れることが許容されているか。
- ・羽田空港 D 滑走路建設工事における環境影響評価において、鉱物学的見地からの評価を実施したか。また、今後、このような見地から評価を実施すべきであると考えるいかがか。
- ・羽田空港 D 滑走路建設工事に際して、埋め立てに宇久須産の岩ズリを使用している理由は何か。また、D 滑走路の供用開始まであまり時間がないことが関係しているのか。

長 妻 昭君（民主）

- ・「国土技術研究センター厚生会 平成 14 年度事業計画及び予算書」は、匿名の方から送付されたものだが、これは本物か。同センターに確認していただきたい。また、

厚生会の支出についてセンターに確認しその結果を委員会に報告していただきたい。

- ・「会計検査院から照会文書による質問を受けた事項のうち決算検査報告に掲載されなかった事項について」にある改善件数に係る金額の合計額 25 億 5,300 万円のうち道路特定財源からの支出はいくらか。また、25 億 5,300 万円のうち返還された額はいくらか。

古 賀 一 成君（民主）

- ・昨年末、床面積 1 千㎡未満の建築物 175 万棟についてアスベストの使用に関する調査が行われていないと報道されたが、今後どのように取り組んでいくのか。また、現状についてどのように考えているのか。
- ・今後は、アスベストが多く含まれているスレートへの対策をさらに加速していくべきと考えるが、大臣の所見を伺いたい。
- ・地方自治体や民間の建築物のアスベスト除去工事を行う事業者について、現在資格要件は不要であるが、資格要件を設けその事業者を推奨するといった考えはないか。

川 内 博 史君（民主）

- ・「公益法人の設立許可及び指導監督基準の運用指針」において公益法人が開示する必要があるとされる「財務等に関する情報」に福利厚生費の使途に関する情報が含まれるか。
- ・国家公務員出身者が役員や職員として在籍する公益法人の数、理事数・職員数及び正味財産額（資産から負債を控除したもの）の合計額はどうなっているか。
- ・「道路関係業務の執行のあり方改革本部最終報告書」に基づいて道路関係公益法人の内部留保を国に返還する方法及びスケジュールはどうなっているか。また、その際に

資産を徹底的に調査する必要があると考えるが、大臣はどのように考えるか。

- 3 特定船舶の入港の禁止に関する特別措置法第五条第一項の規定に基づき、特定船舶の入港禁止の実施につき承認を求める件（内閣提出、承認第2号）
- ・冬柴国土交通大臣から提案理由の説明を聴取しました。